

青少年赤十字



リーダーシップ・トレーニング・センター レポート



本年度も、青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(トレセン)を、三重県立鈴鹿青少年センターにて開催しました。赤十字・青少年赤十字に関する知識を学習しながら、自主・自律の精神を身につけ、それぞれにリーダーシップの取り方を学んだ2泊3日間。さまざまなプログラム・学習を通じ、輝く皆さんの姿がたくさん見られました。

小学校 7/31(水)～8/2(金)



無言の世界

話してはいけないというルールを守り、仲間と意思疎通を計ったり、協力して問題をクリアしました。



救急法



三重県支部創立130周年『トレセン』

リーダーシップ・トレーニング・センター(トレセン)の歴史は古く、第1回は昭和26年(1951年)に、小学校と中学校のトレセンが2泊2日の日程で、津市立藤木小学校で行われました。そして、翌27年に高等学校が参加し、3泊4日で行われました。これがトレセンの始まりです。以降、台風等によって中止になった年もありましたが、毎年夏休み期間中に実施されてきました。

トレセンの目的である学校や社会で活躍できるリーダーの養成をめざして今後も実施していく予定です。小学生は5・6年生、中学生は1・2年生を対象としています。多くの児童・生徒の皆さんに参加していただくことを願っています。

中学校 8/4(日)～8/6(火)



暗黒の世界



防災

クリップや輪ゴムなどを、すべて道具を使って所定の位置まで落とさないように運びます。作戦を練りながら、制限時間内に運び出せるよう頑張りました。

朝のつどいでは、レクV・Sを中心に、レクリエーションや体操、連絡等を行い、一日を元気よくスタートしました。



小学生の防災ごろくでは、ゲーム感覚で防災の知識を学ぶことができました。みんな夢中!

リーダーシップ・トレーニング・センターを終えて

トレセンを
ふりかえって

熊野市立神上小学校
指導者 執行 ひろみ

私がトレセンに関わり始めたのが平成15年、今から16年前です。その年のトレセンの参加者は70名、紀南からは37名、スタッフは21名と記録しています。会場は熊野少年自然の家でした。これまでのトレセン会場は熊野少年自然の家で4回、四日市少年自然の家で1回、津市青少年野外活動センターで4回、三

重県立鈴鹿青少年センターで7回。やはり環境が整っている鈴鹿青少年センターがトレセン会場として一番ふさわしいと思います。

「3日間、すごく楽しかった!」「来年もトレセンに参加したい!」「新しい友だちができてうれしい!」「こんなに自分が変わることができるなんてびっくりした!」等と素晴らしい感想が寄せられ、子ども達は参加して満足していました。私も子ども達同様に参加する度に多くの先生方や赤職員に出会い、学校間の情報交換ができたり、日頃の悩みをお互い出し合ったり、

泊を共にすると心の絆が一段と深まることが多いんだなって思っています。

トレセンでは、①命令しない、されない生活②五分前行動③気づき、考え方、実行する④掲示板を見て行動するなどが大切だと思います。

最後に働き方改革が強く叫ばれている現在、スタッフは集まるのだろうか、若い先生方にも参加してもらいたいと、リーダー養成にふさわしく、何と言っても一番盛り上がるのが赤十字をテーマにしたスタンツです。私は来年3月現場を退職します。長い間、トレセンに関わらせて頂きありがとうございました。私はトレセンで仲良くなった子です。私はトレセンでたくさん成長しました。これからこのこと

初めての
トレセン

津市立倭小学校
6年 三田 真愛

私はトレセンに行くのは初めてでした。でも、みんな優しい、面白いし、一緒にいて安心できました。トレセン一日目はきんちょうして、H・R(ホームルーム)では全然話せませんでした。でも夜みんなとごはんを食べるとき、いっぱい話せました。最近面白いことがあったことなど話をどうなぞいてくれたり、「面

白!!」と笑ってくれました。とてもうれしい一日になりました。

二日目はH・Rでやったげき(スタンツ)がとても楽しかったです。げきでまちがってもみんな笑ってくれて、先生方が言ったように「失敗してもいいんだ!」と思いました。でもその失敗を土台にしてこれからどんどんがんばっていこうと思います。

今は三日目です。一日目は人とも話せなかったけど、今はとなりに友達がいます。トレセンで仲良くなった子です。私はトレセンでたくさん成長しました。これからこのこと

トレセンに
参加して

津市立橋北中学校
1年 黒蕨 美奈子

私は、今回初めて青少年赤十字リーダーシップ・トレ

を活かしもっと成長したいです。



ニング・センターに参加しました。最初は、「トレセン」とは何か? どのようなことを中心にするのか? 繁忙ながらも、少しの楽しみがありました。始まってみると、普段の生活とは違うことがありました。それは、学校では「今から〇〇をするので、〇〇と〇〇を準備してください」というのは、誰か一人が先頭になって行動をする人だと思っていました。「リーダー」というのは、みんなの協力が必要であることを改めて感じることができました。「リーダー」というのは、みんなが一人ひとりが責任を持ってこなす、その人たち一人ひとりがリーダーなんだを感じました。この3日間で学んだことを私の人生に活かし、みんなの役に立てる自立した人間にれるように頑張ります。

トレセンで
学んだこと

三重県立白子高等学校
3年 鈴山 友暉

私はこの3日間で大変貴重な経験をしました。まず1日目では赤十字社がどういった経緯でつくられたのかという、その歴史や創始者である「アンリー・デュナン」について学び、理解を深めることができました。それにより、日赤の活動の根底にあるものが何かを意識し、今後の活動に臨んでいくことを理解し、ものごとを色んな角度で見ることによって互いの気持ちを読み取り、世界中の人々と交流して仲を深めて

いたと思いました。3日目のフィールドワークでは、人では到底知識が及ばないAIにはないような創造力や仲間との協力によって、多くの課題をクリアしていくことができました。この3日間、責任感やコミュニケーションなどの多くの能力を向上させることができました。この経験をこれからの活動にしっかりと活用していかたいと思います。

